

【記載要項】本記載要項に基づき、研究開発提案書を作成、提出してください。

(様式 1)

日本医療研究開発機構 脳神経科学統合プログラム (中核拠点)
研究開発提案書

研究開発課題名 (英語表記)	日本語表記	〇〇に関する研究開発	e-Rad の記載と一致させてください。
	英語表記	Study of 〇〇	
公募名 (事業名)		令和 5 年度 脳神経科学統合研究プログラム (中核拠点)	
研究開発期間 (全研究期間)		令和 XX 年 X 月 X 日 ~ 令和 XX 年 X 月 XX 日 (X 年間)	
研究費総額 ※直接経費のみ		令和 5 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 令和 6 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 令和 7 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 令和 8 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 令和 9 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 令和 10 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 令和 11 年度の研究費総額 (X, XXX, XXX 千円) 期間での研究費総額 (XX, XXX, XXX 千円)	
ヒト全ゲノムシーケンス解析		<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施しない <small>※いずれかに☑。実施する場合、(様式 2) ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式を提出。</small>	
研究 開 発 代 表 者	氏 名	フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇
		漢 字	〇〇 〇〇
		ローマ字表記	Yyyy Yyyyyy
	性 別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 回答したくない <input type="checkbox"/>	
	生年月 (年齢)	19XX 年 XX 月 (XX 歳 : 令和 6 年 4 月 1 日時点)	
	所属機関 (正式名称)	〇〇法人〇〇大学	
	所属部署 (部局)	〇〇学部〇〇学科	
役 職	〇〇		
研究開発代表者の情報		https://www.	
研究開発代表者の研究歴 (主な職歴と研究内容)		<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本表全体で 1 ページに収まるよう、簡潔に記載してください。 </div>	

注 提出する際には、青文字の記載例を削除してください。

4. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名	所属機関※ ¹	現在の専門	令和6年度 研究経費※ ² (千円)	エフ オー ト (%)
	生年月 (年齢:令和6 年4月1日時点)	所属部署 (部局) ※ ¹	学位 (最終学歴) 学位取得年		
		役職※ ¹	役割分担		
研究開発代表者	〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学	△△△	X, XXX	XX
	S49/11 (XX)	△△△学部△△△学科	△△博士 (〇〇大学) H14年		
		△△△	研究の統括		
研究開発分担者	□□ 〇〇	△□大学	□□□	X, XXX	XX
	S50/11 (XX)	△△△学部△△△学科	〇〇博士 (□△大学) H15年		
		□□□	データの解析		
研究開発分担者		(主たる研究場所) ※ ¹ △□大学		X, XXX	XX
		△△△学部△△△学科			
		□□□			
研究開発分担者	適宜、記入欄を増やし、全ての研究開発代表者について記載してください。				
計 2名			研究開発経費合計	X, XXX	

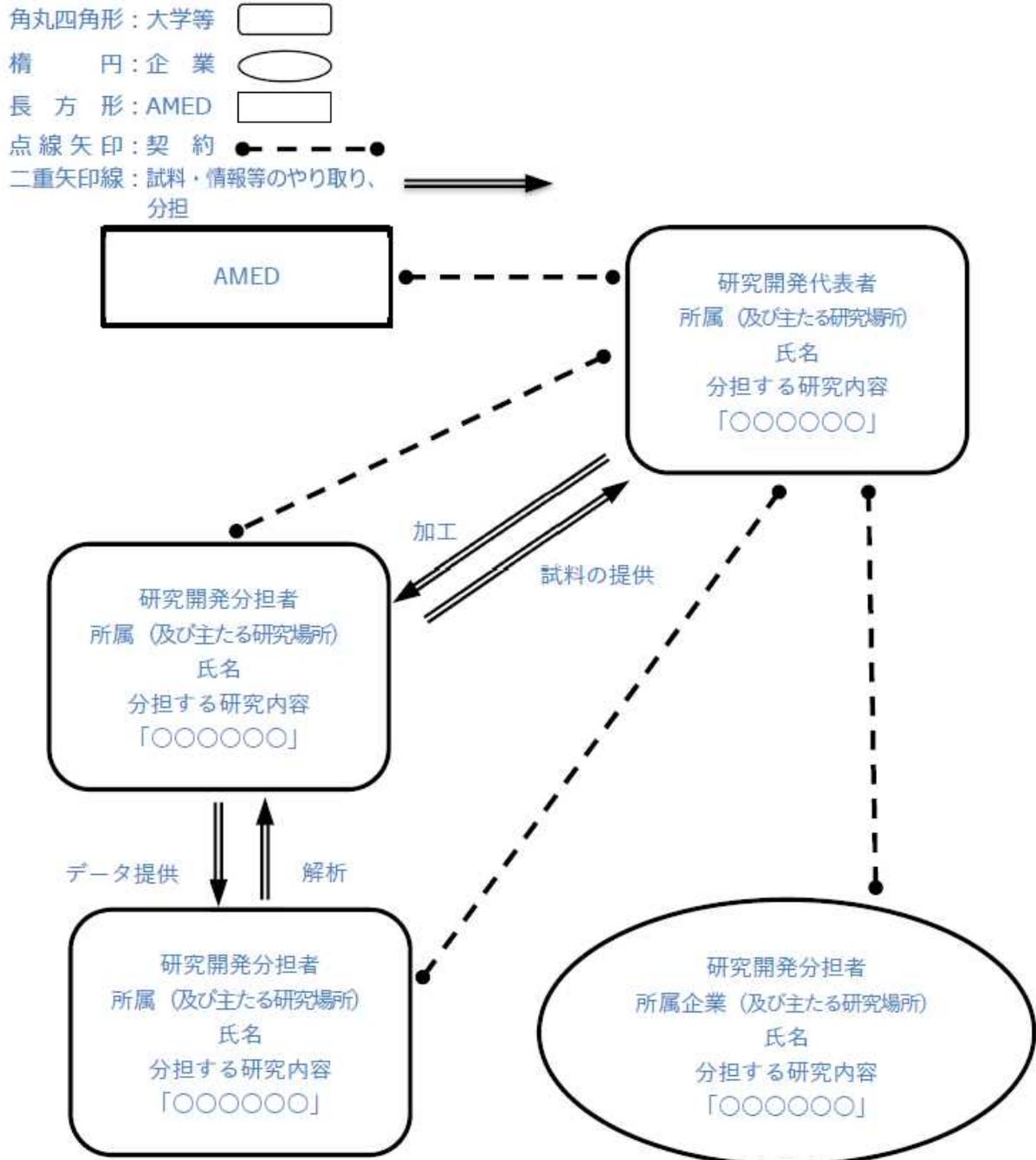
※¹ 所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署 (部局) 及び役職も記載してください。

※² 研究経費については、直接経費を記載してください。

5. 実施体制図

- 代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。
- 下記の図は例示として画像データで貼り付けてありますので、提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を下に貼り付けてください。

【体制図記載例】



6. 研究開発の主なスケジュール

■ 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

■ 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

■ 別途 Excel で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF 化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF 化後に必ずご確認ください。

研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）														
研究開発項目 ※マイルストーン	担当者 氏名	第 1 年 度 (R5 年度)	第 2 年度 (R6 年度)		第 3 年度 (R7 年度)		第 4 年度 (R8 年度)		第 5 年度 (R9 年度)		第 6 年度 (R10 年度)		第 7 年度 (R11 年度)	
		4Q	1Q	2Q	1Q	2Q	1Q	2Q	1Q	2Q	1Q	2Q	1Q	2Q
(1) ○○関連遺伝子発現解析 ・アッセイ系の確立 ・発現データ解析	○○○○ ○○○○		←————→		▲ マイルストーン：○○○○○○○○									
(2)														
(3)														
(4)														
(5)														
(6)														

7. 各年度別経費内訳

(1) 委託研究開発費

■研究開発費（代表研究機関及び全分担研究機関についての合算）の内訳を記入してください。

■間接経費は直接経費の30%以下としてください。

（単位：千円）

大項目	中項目	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費							
		消耗品費							
	2. 旅費	旅費							
		3. 人件費・謝金	人件費						
	謝金								
	4. その他	外注費							
その他									
小計		各年度の直接経費の上限は、以下のようになっていますので、この上限を超えないようご注意ください。 令和5年度：1,132,000千円（上限） 令和6年度：1,000,000千円（上限） 令和7～11年度：各年度1,400,000千円（上限）							
間接経費 （上記経費の30%目安）									
合計									

(2) 研究機関別経費

■各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費を記載してください。最終行の研究費合計額は、間接経費を含む合計額を記載してください。

■分担研究機関が3機関以上ある場合は、行を追加してください。

※各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費（単位：千円）

種別	機関名	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
代表研究機関	上段、直接経費								
	下段、間接経費								
分担研究機関1									
分担研究機関2									
研究開発費合計額 （間接経費を含む）									

8. 研究業績

- 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき10～15編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。
- 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。この提案課題に直接関連するものについては、「●」を付してください。

(1) 研究開発代表者 ○○ ○○

<論文・著書>

●M. Marusankaku, J. Aaaa, H. Bbbbb, A. Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020, 1, 10-20

M. Marusankaku, T. Aaaa, A. Bbbbb, T. Ccccc, Risk factors for Fungal……, Nature, 2019, 2, 17-26

<特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

<政策提言>

○○○○○○ガイドライン（○○学会編 XXXX年）

(2) 研究開発分担者 ○○ ○○

<論文・著書>

●M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 2020, 12, 32-40

M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Malaria……, Nature, 2019, 10, 45-54

(Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例)

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam oblique

9. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

- 本研究開発課題の研究開発代表者及び全ての研究開発分担者の応募時点における、(1) 応募中の研究費（国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。）、(2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、(3) その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。
- 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記載してください。
- 「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。
- 研究開発分担者が2名以上いる場合は、研究開発分担者ごとに、全ての研究開発分担者について記載してください

研究開発代表者：○○ ○○

(1) 応募中の研究費（令和●年●月●日時点）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和5年度の研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R5~R7)	○○と△△の相関に関する実験的研究 (○○○○)	代表	6,000 [18,000]	20	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 (R5~R6・日本学術振興会)	○○と△△の□□への依存性に関する調査研究 (○○○○)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円) *
令和5年度○○財団研究助成金 (R5・○○財団)	●●と□□の研究 (○○○○)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

申請者本人への配分予定額（直接経費）

研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）

研究開発課題全体（直接経費）の総額例）(6,000+1,000（分担者））×3年
(総額 21,000 千円) *

上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載

(2) 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和5年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和3年度〇〇財団研究助成金（R3・〇〇財団）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) *
〇〇事業（R3～R5・AMED）	●●と□□の研究（〇〇〇〇）	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* () 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3) その他の活動

エフォート： 50 %

■ (1) (2) 以外の「その他の活動」のイメージ例（考え方の整理）

教育	エフォート： 20 %
診療	エフォート： 10 %
社会サービス	エフォート： 5 %
その他（学内事務等）	エフォート： 15 %

研究開発分担者：〇〇 〇〇

(1) 応募中の研究費（令和●年●月●日時点）

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究開発課題名（研究開発代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	令和5年度の 研究経費（直接経費） [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R5～R7)	〇〇と△△の関連に関する実験的研究 (〇〇〇〇)	代表	6,000 [18,000]	20	(総額 21,000 千円) *

申請者本人への配分予定額（直接経費）

研究開発課題全体（直接経費）の総額例）(6,000+1,000（分担者））×3年

科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 (R5～R6・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究 (〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円) *
令和 5 年度〇〇財団研究助成金 (R5・〇〇財団)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額 (直接経費) (予定額)

上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載

(2) 採択されている研究費 (実施中の研究費・実施予定の研究費) (令和●年●月●日時点)

(注: 本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和 5 年度の 研究経費 (直接経費) [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和 3 年度〇〇財団研究助成金 (R3・〇〇財団)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円) *
〇〇事業 (R3～R5・AMED)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* () 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3) その他の活動

エフォート: 50 %

■ (1) (2) 以外の「その他の活動」のイメージ例 (考え方の整理)

教育 エフォート: 20 %

診療 エフォート: 10 %

社会サービス エフォート: 5 %

その他 (学内事務等) エフォート: 15 %

10. これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（1）【AMED 事業】と（2）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED 事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

(1) 【AMED 事業】

・ AMED ○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

・ AMED ○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

(2) 【それ以外の研究費】

・ 基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

1 1. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。なお、今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

(1) 研究開発成果の実用化は、人類の福祉向上に資する一方、関係法令・倫理規範への適合や社会への受容が不可欠です。そのため、可能な限り早い段階から研究開発に関する倫理的・法的・社会的課題 (ELSI : Ethical, Legal and Social Issues) を把握し、社会との間で論点の共有や対話を行うこと等により、研究開発からその成果の社会実装までを円滑に進めることが可能になると考えています。

①本研究開発課題において、研究開発及びその成果の社会実装に至るまでの倫理的・法的・社会的側面からの懸念やリスクについて記載してください。

②本研究開発課題において、研究開発の質向上と社会のニーズを満たす成果創出のため、患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・方針等について記載してください。(※詳しくは公募要領第 1 2 章 1 項「医療研究開発研究の「社会共創」の推進」を参照)

(1) ELSI、PPI について

①倫理的・法的・社会的課題 (ELSI : Ethical, Legal and Social Issues) への対応について

以下の a) ~c) のいずれかの口 にチェックを入れるとともに、a) 又は b) については、その内容を簡潔に記載してください (b は検討中の内容で差し支えありません)。

a) 倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握している。

b) 倫理的・法的・社会的側面からのリスクを整理中である。

c) 倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握・整理していない。

(記載例)

・本研究開発課題における〇〇については、……といった点が倫理的課題として指摘されている。この課題を解決すべく、〇〇について、……を通じて検討を行う。

・〇〇の実用化にあたっては、……といった社会的課題が想定される。そのため、研究開発プロセスを通じて、……の対応を行う。

・本研究開発課題で取り扱うテーマは、社会の理解を得つつ進めることが必要であるため、……を通じて研究開発の進捗状況を社会に広く発信するように努める。

・本研究開発課題の進捗や成果について、次世代を担う中学・高校生にも伝わるよう、……を行う予定である。

②研究への患者・市民参画 (PPI : Patient and Public Involvement) の取組について

以下の a) ~c) のいずれかの口 にチェックを入れるとともに、a) 又は b) については、その内容を簡潔に記載してください (b は検討中の内容で差し支えありません)。

a) 患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組を行っている。

b) 患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組について検討している。

c) 患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・検討を行っていない。

(記載例)

・本研究開発課題の提案にあたっては、すでに●●の患者団体と意見交換を行い、本提案における……の点の改善につなげた。

・本研究開発課題にて行う〇〇の臨床試験のプロトコール作成にあたっては、……という点を明ら

かにすべく、〇〇患者との対話を行い患者や家族側の意見を取り入れる予定である。

- ・本研究開発課題の実施にあたっては、関係する患者・家族との対話により、●●●への期待や懸念、疑問点を抽出し、患者・家族の意見を取り入れながら研究開発プロセスを見直す方針である。
- ・本研究開発課題は、現時点で患者・家族等との対話を行える研究フェーズにないが、社会への情報発信に努める他、……について検討を行う予定である。

(2) その他の研究成果の目安となる数値指標等について

本研究で得られた結果について、〇〇のデータベースに登録予定。

(3) 国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

(4) キーワード（疾患名以外、10 単語以内）

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。（例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA 世代など）、実験動物等、の具体名）

1. △△計測
2. ○○合成阻害剤
3. ……

(5) 対象疾患（10 個以内）

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を 10 個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1. △△感染症
2. ○○病
3. □□症候群 ……